平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	デッサン1(Dessin 1)			授業コード	C166001
担当教員名	足立　元				
配当学年	1	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	1		
履修上の注意または履修条件	1時間1時間の授業を大切にして下さい。実技を伴うデッサンでは、1課題毎に評価(採点)していますので、一度欠席をしただけでも最終的な評価は不利となります。欠席しないようにしてください。				
受講心得	この科目は皆さんが次の目標を達成できることをめざしています。授業時はもちろん、課外の予習復習(自習)を通して、これらの目標が達成できるように学習を進めてください。 ●対象の形態的な構造を把握し、立体としての表現ができる。 ●複数の物体の関係を有機的に把握しながら表現することができる。				
教科書	資料を配布します。				
参考文献及び指定図書					
関連科目	(後修科目) デッサン2 (先修・後修に関係なく関連性の高い科目) 造形1、造形2、造形3、造形4、CG基礎、CG1、CG2、CG3				

授業の目的	この科目の目的は、「デッサン1」に引き続き、鉛筆による描写の訓練を通して、デジタル技術を用いたビジュアル表現や映像表現の基礎となる表現力を養うことにあります。
授業の概要	次の3点を中心に演習形式で学習します。 1. 対象の形態的な構造を把握し、立体として追求する学習をします。 2. 対象の固有色や陰影に留意して明暗の調子をつくりながら表現します。 3. 複数の物体の関係を有機的に把握しながら表現します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : ○第1回　オリエンテーション 後期の授業内容について。美術全般について、わかる・わからない、いい絵・悪い絵、うまい・へたなどの認識について、具体的にサンプルを示す。	課題1 オリエンテーション
第 2 週 : ○第2回　透視図法1 透視図法の歴史と現代の表現を学び、1点透視図法と2点透視図法の基本練習を行う。	課題2 透視図法
第 3 週 : ○第3回　透視図法2 第2回に引き続き、1点透視図法と2点透視図法の基本練習を行う。	課題3 透視図法
第 4 週 : ○第4回　建築物のデッサン1 2－3回で学習した透視図法を応用し、学内の建築物をデッサンする。これにより、透視図法の理解を深め、表現力を養う。	課題4 建築物のデッサン
第 5 週 : ○第5回　建築物のデッサン2 第4回に続いて、学内の建築物をデッサンする。これにより、透視図法の理解を深め、表現力を養う。	課題5 建築物のデッサン
第 6 週 : ○第6回　建築物のデッサン3 第5回に続いて、学内の建築物をデッサンする。これにより、透視図法の理解を深め、表現力を養う。	課題6 建築物のデッサン

第 7 週 : 〇第7回　静物デッサン1 単体のモチーフを詳細に観察して描写する訓練をつむ。立体を把握し、表現するための観察力を養う。	課題7 静物デッサン1
第 8 週 : 〇第8回　静物デッサン2 単体のモチーフを詳細に観察して描写する訓練をつむ。硬い質感を把握し、表現するための観察力を養う。	課題8 静物デッサン2
第 9 週 : 〇第9回　静物デッサン3 単体のモチーフを詳細に観察して描写する訓練をつむ。柔らかい質感を把握し、表現するための観察力を養う。	課題9 静物デッサン3
第10週 : 〇第10回　静物デッサン4 複数のモチーフによる静物デッサンを行う。それぞれのモチーフや床、壁面などとの関係を観察しながら空間を描写し、表現する力を養うことを目標にする。	課題10 静物デッサン（複数モチーフ）
第11週 : 〇第11回　静物デッサン5 前回に引き続き複数のモチーフによる静物デッサンを行う。それぞれのモチーフや床、壁面などとの関係を観察しながら空間を描写し、表現する力を養うことを目標にする。	課題11 静物デッサン（複数モチーフ）
第12週 : 〇第12回　想定デッサン1 これまで培った描写力を生かして、自らの考えをビジュアルに構想して表現する訓練を行う。まず基本形態を空間に配置する訓練を行う。	課題12 想定デッサン1
第13週 : 〇第13回　想定デッサン2 これまで培った描写力を生かして、自らの考えをビジュアルに構想して表現する訓練を行う。テーマを設定し、そこから想像する世界を表現する。	課題13 想定デッサン2
第14週 : 〇第14回　想定デッサン3 これまで培った描写力を生かして、自らの考えをビジュアルに構想して表現する訓練を行う。自らの内面を見つめ、自己と他者の境界について構想し表現する。	課題14 想定デッサン3
第15週 : 〇第15回　想定デッサン4 これまで培った描写力を生かして、自らの考えをビジュアルに構想して表現する訓練を行う。文章に表されたテーマを表現する課題を通して、自分の想像したイメージを豊かに表現するためのデッサン力を養う。	課題15 想定デッサン4
第16週 : 期末試験	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	表現の対象を観察する態度を養う。
【知識・理解】	対象の形態的な構造を把握し、立体として表現できる。
【技能・表現・コミュニケーション】	対象の固有色や陰影に留意して明暗の調子をつくりながら表現できる。
【思考・判断・創造】	複数の物体の関係を有機的に把握しながら表現できる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**10点**		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**30点**		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**30点**		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**30点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	